

研究学園地区まちづくりビジョン ー概要ー

研究学園地区まちづくりビジョン策定の目的

- 国家公務員 宿舎の廃止・売却やつくばエクスプレスの開通などによりつくば市を取り巻く環境が大きく変化
- 平成 22 年につくばの将来像を明確にした「新たなつくばのランドデザイン」を策定

- 特徴的な都市環境が存在し、つくば独自の魅力あるまちづくりに重要な役割を果たす研究学園地区を最大限活用
- 研究学園地区について、葛城地区との役割分担を視野に入れながら、今後の目指すべき方向性を明らかにするため、「研究学園地区まちづくりビジョン」を策定

緑豊かな都市環境

- ・まちなかにある公園やペDESTリアンデッキなどの豊富な憩いの場
- ・街路樹や住宅、研究所などの豊かな緑と、ゆとりのある街並み

将来目標

緑豊かな都市環境に集う国内外の人財、知財が未来を先導する、スマート・ガーデンシティ

- ・時代を先取りする技術が集積した、先進的な環境都市
- ・国際化に対応し、都市機能が集約した、緑豊かな自立都市
- ・洗練されたライフスタイルが展開できる、快適なフィールド

人財、知財の集積

- ・世界中から集まる優秀な人材
- ・研究開発機能の集積とネットワーク
- ・多様な文化が共生するまち
- ・先取の気風、多様な才能から生み出される、いきいきとした都市活動

まちづくり方針

方針1 つくばの特徴的な街並み景観の育成

- つくば都心地区の高水準な景観形成のしくみづくり
- 住宅地及び研究教育施設における緑豊かなゆとりある都市環境の保全・継承
- 幹線道路沿いのグリーンベルトの保全

方針2 既存ストックを活用した新たな魅力の創出

- 優れた建築物や研究施設等の地域資源を活用したつくば独自の都市観光や体験教育の推進
- 公務員宿舎跡地等の低・未利用地を活用した、民間活力による研究学園都市に必要な機能の強化
- 特徴ある都市基盤施設を活用し、用途や特性に応じた魅力ある空間を形成

方針3 つくば都心地区の魅力向上

- 商業機能の強化・育成による広域的な集客力の向上
- 広域交通拠点としてのアクセス性(公共交通、自転車)の向上
- 葛城地区との役割分担(業務、国際交流・研究支援機能の集積)
- 多様な商業施設が進出しやすい環境整備
- ペDESTリアンデッキを活用したつくば都心地区内の回遊性の向上、商業機能の一体化
- エリアマネジメント等、ソフト面の取組みの推進による魅力向上

方針4 国際研究開発拠点機能の強化

- つくば国際戦略総合特区を推進し、つくばの集積を最大限活用した魅力ある研究・開発環境の整備と国際社会への情報発信
- 研究者やその家族、留学生等が働きやすい・住みやすい環境づくり
- 日本人にとっても外国人にとっても魅力のある多文化共生のまちづくりの推進
- 新産業・新事業の創出による国際競争力の強化

方針5 エコライフ都市づくりの先導

- 最先端技術を取り入れた持続可能なまちづくりの推進
- モビリティロボット実証実験特区などをいかし、環境負荷の少ない交通手段への転換の推進
- 市民等への環境技術の情報発信

重点戦略

戦略1 緑豊かなゆとりある都市環境の継承・創出

- 公務員宿舎跡地等新規開発地における重点的な景観誘導
- 既存住宅地・民有地における住民参加のまちづくり誘導
- 市民によるまちなかの多様な緑の創出
- 緑視率の高い緑地環境の形成
- 緑あふれる都市環境を持続させる新たな仕組みづくり

戦略2 ペDESTリアンデッキ等の公共空間の活用及び魅力向上

- にぎわい創出に向けた公共空間の柔軟な活用の推進
- 安心して快適な空間を形成するための沿道建築物の形態等の規制誘導
- ペDESTリアンデッキ等の適切な維持管理体制の構築

戦略3 スマートなまちづくりの推進

- 必要な生活利便施設が整った、歩いて暮らせる生活環境づくり

戦略4 つくば都心地区のにぎわい創出

- 交通ターミナル機能の強化による広域交通拠点の形成
- にぎわい創出に資する制度設計やエリアマネジメント等によるソフト面の取組みの推進
- ペDESTリアンデッキの活用による回遊性の向上
- 良好な都心居住空間の形成による都心居住の推進と、にぎわい施設の設置誘導

戦略5 景観誘導の推進

- 質の高い景観を維持・形成していくためのしくみづくり
- つくばらしい屋外広告物のあり方検討

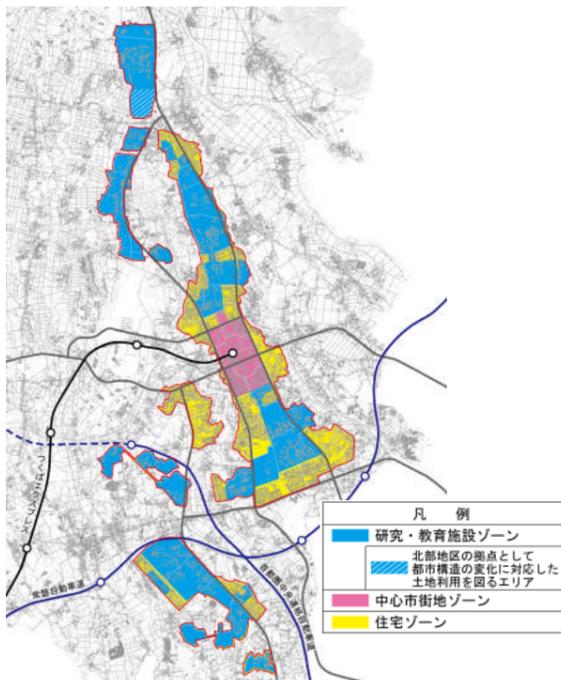
戦略6 研究開発機能を支える人々への支援の強化

- 低・未利用地等の暫定利用による研究者を支える機能の導入
- 外国人がストレスなく移動できる環境づくり
- 研究・開発機能の集積をいかすプラットフォーム機能の強化

戦略7 つくばの特徴をいかした環境施策の展開

- エネルギー使用の効率化など、先進的な環境技術の積極的な導入
- 自転車、パーソナルモビリティ利用の推進
- 緑の豊かさをいかした取組みの推進
- 市民への情報発信の場づくり

ゾーン別取り組み方針



研究・教育施設ゾーン

- 筑波研究学園都市における国際研究開発拠点としての成長に資する、研究・教育機関や研究開発型企業等の機能の集積
- 研究学園地区全体の良好な景観を構成する骨格的なゾーンとして、また、近接する住宅ゾーンと調和した、国際研究開発拠点としてふさわしい研究・教育環境の形成

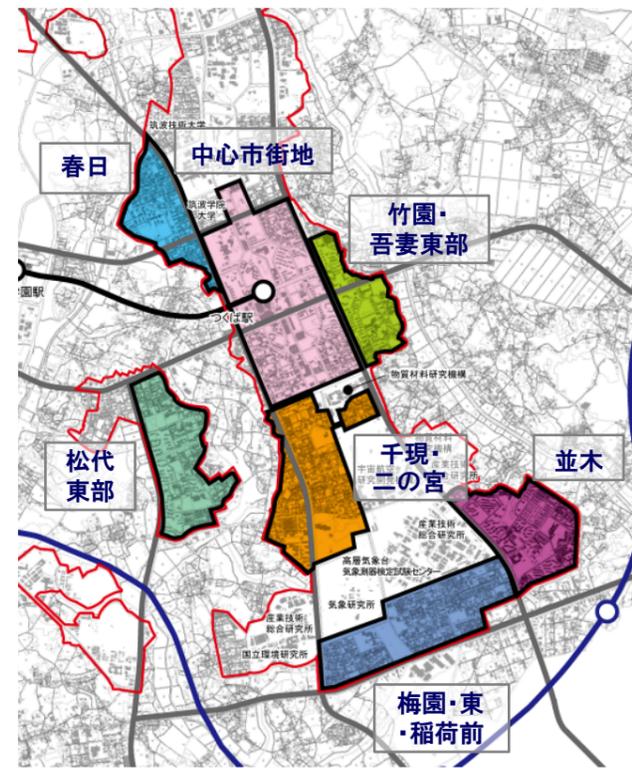
中心市街地ゾーン

- 隣接する葛城地区との機能分担等を考慮しながら、商業・業務機能のほか、都市的利便性を提供する文化・教養・サービス機能など充実した機能が集積する、つくばの核として魅力ある都市拠点の形成
- 研究学園都市全体をリードし、筑波研究学園都市の玄関口としてふさわしい景観と良好な都市環境の形成

住宅ゾーン

- 研究学園地区としてふさわしい緑豊かなゆとりある都市環境の形成を基本に、地域の特性をいかし、住宅に純化し良質な住環境を提供するエリア、多様な住まい方や生活利便機能が混在した都市に活力を提供するエリア等、魅力と快適性のある住環境の形成
- 特に、公的住宅が多く立地する地区を中心とした、良好なストックにおける都市景観の継承

先導エリアのまちづくり方針と施策



春日

- 多様な人々が住まう活力のある市街地の形成
- つくば都心地区や葛城地区の利便性を享受した、新生活拠点の形成

- ・街角の緑の創出
- ・街並み環境の向上
- ・アパートの建替え更新を契機とした環境改善
- ・学校との連携による公園等の活用
- ・ペデや公園を適正管理するための体制づくり
- ・葛城地区とつくば駅の近接性をいかした生活サービス利便性の向上
- ・小中一貫校を中心とした新たなコミュニティ醸成
- ・外国人研究者や学生が安心して住める住まいの創出
- ・公共施設における緑化推進
- ・自転車利用環境の改善

中心市街地

- つくばの核として充実した都市機能を有する、魅力ある都市拠点の形成
- 筑波研究学園都市の玄関口としてふさわしい、風格ある街並みと、良好な都市環境の形成

- ・都心機能と緑が調和した、魅力ある都市環境の創出
- ・グリーンベルトの維持・保全
- ・公共空間等における良好な緑資源の維持・継承
- ・ペデ等の公共空間の活用による都市活力の向上
- ・ペデ沿道のしつらえの誘導
- ・橋梁下部空間の適切な誘導
- ・企業や住民等、官民協働による親しみやすい公共空間の創出
- ・都心部の高い利便性を享受できる居住環境の形成
- ・広域から人を呼び込む都市機能の集積
- ・交通結節機能の強化
- ・ペデ等をいかしたにぎわいづくり
- ・エリアマネジメントによる都心地区の一体化
- ・都心居住の推進
- ・つくばならではのまちなか観光の推進
- ・質の高い景観形成を担保するしくみの整備
- ・公務員宿舎等低・未利用地の良好な景観の創出
- ・既存資源をいかした景観づくり
- ・無電柱化の推進
- ・屋外広告物の適切な誘導
- ・交流を支援する機能整備
- ・外国人にやさしい国際都市つくばの推進
- ・つくば環境スタイルを先導する取り組みの推進
- ・自転車利用環境の改善

松代東部

- 周辺地域と調和した緑豊かなゆとりある住宅地の形成
- つくば都心地区と葛城地区を結ぶサテライト都市の実現

- ・中低層の住宅を中心とした、緑豊かで落ち着きある住宅市街地の形成
- ・地域住民による街並みづくり
- ・グリーンベルトの維持・保全
- ・ペデ沿道の安全でゆとりある空間の形成
- ・ペデや公園を適正管理するための体制づくり
- ・近隣住民を支える機能の確保
- ・自転車利用環境の改善

梅園・東・稲荷前

- ゆとりと落ち着きと個性のある住宅地の形成
- 誰もが暮らしやすい、多世代に配慮した住宅地の形成

- ・つくばらしい緑に包まれた住宅地の形成
- ・ペデや公園を適正管理するための体制づくり
- ・農のある生活環境の形成
- ・歩いて暮らせる居住環境の形成
- ・自転車利用環境の改善

竹園・吾妻東部

- 充実した教育環境をいかし、文教都市の気品が漂う品格ある質の高い住環境の形成
- つくば都心地区近郊の利便性・快適性の高い生活文化地区の形成

- ・品格ある高度な住環境への誘導
- ・無電柱化の推進
- ・グリーンベルトの維持・保全
- ・公共空間を中心としたにぎわい・コミュニティの場の創出
- ・ペデ沿道のしつらえの誘導
- ・ペデや公園を適正管理するための体制づくり
- ・歩いて暮らせる居住環境の形成
- ・中心市街地からの商業機能の連担性の誘導
- ・公務員宿舎跡地における先導的な取り組み誘導
- ・自転車利用環境の改善

千現・二の宮

- 活気のある洗練された住宅地の形成

- ・にぎわいと住みやすさが共存した街並み空間の形成
- ・グリーンベルトの維持・保全
- ・ペデ等の多様な活用による賑わい空間の創出
- ・ペデや公園を適正管理するための体制づくり
- ・歩いて暮らせる居住環境の形成
- ・生活に憩い・潤いを与えるまちなか空間形成
- ・外国人が住みやすい環境づくり
- ・自転車利用環境の改善

並木

- 周辺環境と調和した、低層でゆとりある住環境の形成
- 研究学園地区の新たな交通結節点の形成

- ・中低層の住宅を中心とした、緑豊かで落ち着きある住宅市街地の形成
- ・ペデ沿道のしつらえの誘導
- ・ペデや公園を適正管理するための体制づくり
- ・暮らしのなかでスポーツが身近に楽しめる環境づくり
- ・研究学園地区南部の生活サービス拠点の形成
- ・交通結節点の形成
- ・自転車利用環境の改善